

令和2年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	南島原市立野田小学校	作成者	職名	教 頭
電話番号	0957-73-6782		氏名	山本 孝二
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）				
4月	実施テーマ	①飲酒運転の根絶 ②体罰の禁止 ③情報セキュリティー対策の徹底 ④ハラスメント・わいせつ行為の防止		
<p>○年度当初の会議で、年間を通じた服務規律の取組について確認する場を設け、信用失墜行為、USB使用規定、教職員の言動等を話題にして、コンプライアンス意識の保持と徹底、働きやすい職場づくりの重要性を周知する。</p> <p>○事前に服務規律推進委員会と学校安全衛生推進委員会を開催し年間の取組を決定する。</p>				
<p>取組状況チェックリスト</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。</p>				
<p>取組の評価・改善点</p> <p>○校務分掌において、ハラスメント担当や安全衛生担当を確認し、今年度の方向性や取組を全体で共有した。個人情報の取り扱いについては再確認し、持ち出せる文書等の規定の取り決めをした。</p>				
7月～8月	実施テーマ	①飲酒運転・交通事故の根絶 ②体罰の禁止 ③セクハラ・わいせつ行為の防止 ④情報セキュリティー対策の徹底		
<p>○全職員の「自己分析チェックシート」実施を確認し、わいせつ行為の防止啓発の機会とする。実施テーマに基づいた「セルフチェックシート」を行い、教職員が自らを律し、正しい行動について自覚を持たせる。</p> <p>○県教委発信の「コンプライアンス通信」を配付し、意識向上を図る機会にする。</p> <p>○服務規律推進委員会と学校安全衛生推進委員会を開催し、本校の実態を振り返り、働きやすさや職場環境の様子を点検する。</p>				
<p>取組状況チェックリスト</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。</p>				
<p>取組の評価・改善点</p> <p>○昨年に引き続き実施した「自己分析チェックシート」は、問題事例を出しながらの取組として進め、自己抑制と防止のための行動についてよい啓発の機会となった。</p> <p>○実施テーマについて、例えば体罰や暴言に対して本校教職員に見られる規範意識の高さを認め、改めて高い信頼を得るために欠かせない言動を課題として伝えた。</p> <p>○6月通知文書（酒気帯び運転・交通事故）を再確認し、長期休業中を含めた意識向上と実践力への啓発を行った。意識の継続ができています。</p>				
12月	実施テーマ	①飲酒運転・交通事故の根絶 ②体罰の禁止 ③ハラスメントわいせつ行為の防止 ④情報セキュリティー対策の徹底		
<p>○服務規律推進委員会と学校安全衛生推進委員会を開催し、本校の実態を振り返り、働きやすさや職場環境の様子を点検する。</p> <p>○実施テーマに合わせた研修内容を設定し、職務や不祥事に対して見直す機会を設ける。</p> <p>○冬季休業に入る前に、県教委からの通知やコンプライアンス通信を活用して、教職員に対する意識と実践力の向上を図る。</p>				
<p>取組状況チェックリスト</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。</p>				

取組の評価・改善点

- 「教職員の懲戒処分について」の研修（演習）機会を設け、特にわいせつ行為の事例について考えを深めた。具体的な事例と処分の在り方を理解し、正しい行動について自覚を持たせることができた。
- ハラスメント調査の結果から、現時点で問題の無い職場という認識を持つことができた。さらに風通しのよい雰囲気づくりのために、相手を尊重した言動について共通理解ができた。

2 服務規律委員会

委員会名	野田小服務規律推進委員会
構成員	校内委員（5名 構成員：校長、教頭、教務主任、生活指導主任、養護教諭） ※外部委員（7名 役職等：地域代表、民生委員、PTA役員等）
活動内容 (主なもの)	校内委員会を3回実施。服務規律の取組内容について検討、反省を実施。 「学校支援会議」の時に、外部委員には学校の取組や状況について説明する。
	活動内容の評価・改善点 職員にとって働きがいのある職場と感じられる学校となるように取組を計画したり、ハラスメントの言動が起きていないかを点検したりして、職員が過ごしやすい雰囲気を維持できていることが確認できた。

3 年間を通しての計画の達成状況

年間を通しての取組状況チェックリスト

- 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。
- 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

年間を通しての取組の評価・改善点

【評価】

○学校評価や面談を通して、働きやすい職場環境づくりを全職員が意識しているのがわかる。校務の運営でも協力して実践する姿があり、コンプライアンス意識が高く深いことが受け取れる。

【改善点】

○自己点検の機会を適時設け、意識向上を図るだけでなく、綱紀の保持に関わる文書の配布の折には、ポイントをメッセージとして伝えたり、職員間で話し合いを持ったりすることで、常に高いコンプライアンス意識を持続させる。

■ 管理職員による職員に対する指導状況
(不祥事発生に伴う「綱紀の保持」の通知があった場合に全所属が記入します。)

①指導年月日：令和2年6月8日（通知日：令和2年6月3日）

指導の内容

- ・酒気帯び運転の現行犯逮捕の事案をもとに、強く教職員としての自覚と危機管理意識を持つことについて確認
- ・保護者や地域からの信用損失につながる点と服務規律に対して一人ひとりが当事者意識、危機感をもって行動することについて指導

②指導年月日：令和2年6月16日（通知日：令和2年6月16日）

指導の内容

- ・通知文書及び新聞記事を配付し、交通事故防止と共に万が一事故を起こした場合には、適切な事後処置・被害者に対して誠意ある対応をすることを指導
- ・交通事故を起こした場合の連絡体制の確認